

RonaCareASC-III

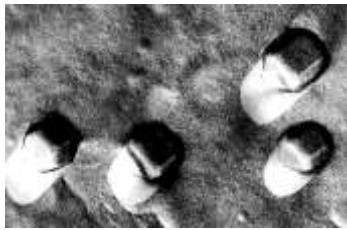
(ロナケア ASC-III)

ジパルミトイルヒドロキシプロリンがⅢ型コラーゲンを増強し弾力改善

- ★老化して薄くなった表皮を、厚く改善し肌弾力復活
- ★肌弾力へ最も関与するⅢ型コラーゲンを産生し若返りを図る
- ★浸透性の高いリポソームへ内包

【コンセプト/ストーリー/機能・特徴】

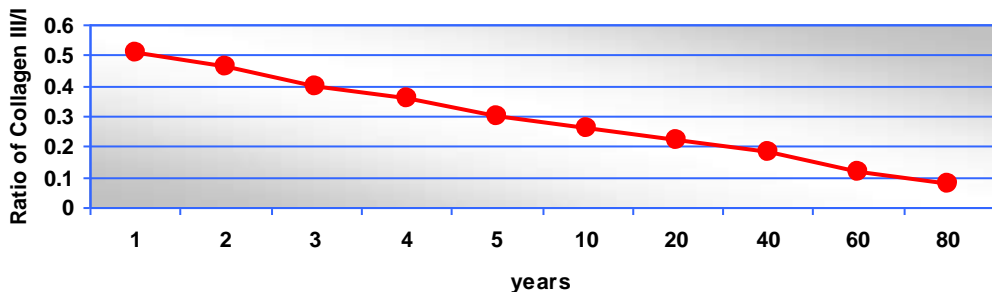
RonaCare ASC-IIIは、ジパルミトイルヒドロキシプロリンをリン脂質(大豆由来)の



ASC-III (SEM写真)

マイクロカプセル(粒径:100-200nm)で包括したりポソーム構造物です。ジパルミトイルヒドロキシプロリンはⅢ型コラーゲンを増強させる働きがあり、これをリポソーム化することにより、肌奥で効果を発揮できるよう設計されています。コラーゲンは皮膚の真皮に存在しており、皮膚の機能と健康のために重要な役割を果たしています。

加齢や外部からのダメージによりコラーゲンが減少すると皮膚の弾力がなくなり、しわ、たるみの原因となります。老化の過程で見られる細胞外基質の変化が顕著なのは、コラーゲン産生の低下です。さらに、一生の間で多数あるコラーゲンの種類の比率も変わっていきます。



年齢に対するヒトの皮膚中のⅢ型/Ⅰ型コラーゲン比

表面



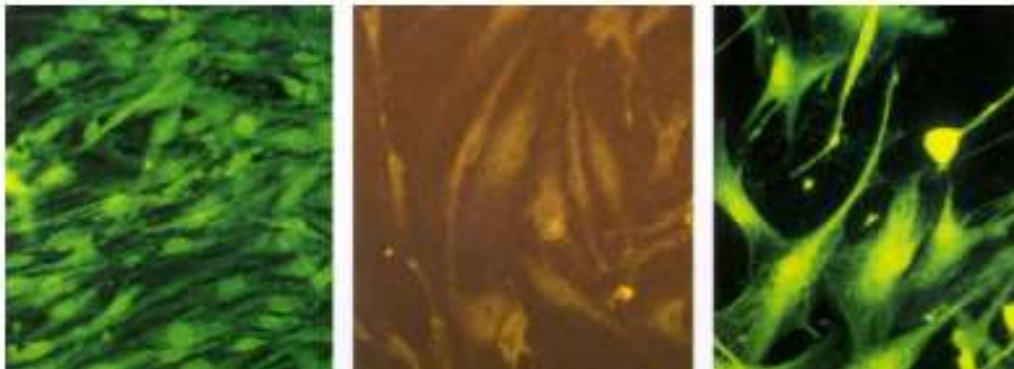
角質層

有効成分(ジパルミトイルヒドロキシプロリン)をリポソーム化することにより、角質層への浸透性をアップ!!
必要な場所で効果を発揮させます。

【効果・効能】

ケラチノサイトは外部の信号を受け取る皮膚の“アンテナ”で、繊維芽細胞は皮膚における構造のほとんどを合成する“工場”です。このアンテナが損傷を受けると、繊維芽細胞は損傷した構造物の再合成を始めます。このとき、損傷を受けたという情報を伝達するのが“サイトカイン”と呼ばれ、インターロイキンなどが知られています。RonaCare ASC-Ⅲはケラチノサイトを刺激し、繊維芽細胞中において、特異的にⅢ型コラーゲンを合成することが証明されました。また、コラーゲナーゼ活性抑制効果も認められています。

年齢差による繊維芽細胞中のⅢ型コラーゲンの違い

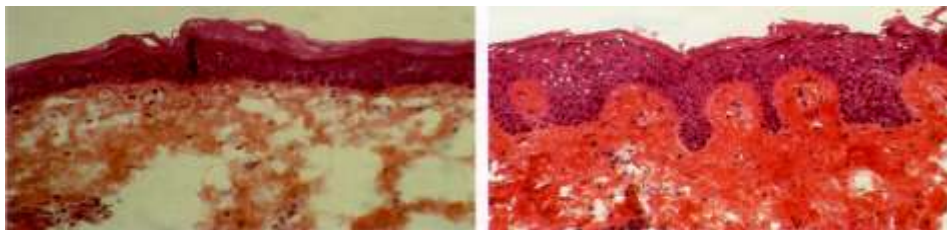


4歳児

66歳

66歳+ASC-Ⅲ処理

(蛍光強度はⅢ型コラーゲンの量に対応しています)



処理前

ASC-Ⅲ (5%)を含むクリーム
処理後(3週間)

これらの試験結果より、RonaCare ASC-ⅢはⅢ型コラーゲンを選択的に増加させる事で、弾力性を回復します。また、表皮を厚くさせますので、皮膚は柔軟性を取り戻し、弾性に富んだ、シワの少ない皮膚の若返りを実現させます。

【商品情報】

商品名：RonaCare ASC-Ⅲ(ロナケアASC-Ⅲ)

表示名称：水、レシチン、ジパルミトイルヒドロキシプロリン、シトステロール、リノール酸、トコフェロール、アスコルビン酸ナトリウム、マンニトール、フェノキシエタノール、メチルパラベン、エチルパラベン、プロピルパラベン、ブチルパラベン

推奨配合量：3.0%~5.0%

製造元：メルクパフォーマンスマテリアルズ合同会社

2009/9/1

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしているものであり、
効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。